

報道機関 各位

資料提供 平成28年9月9日
総務部 総合防災課
担当者 政策監 佐藤 和彦
調整・危機管理班 荻原 勲
TEL 018-860-4563
美の国あきたネット掲載 (有)・無

北朝鮮付近を震源とする地震波の観測に伴う対応について

政府は、北朝鮮において、核実験が行われたと判断しており、関係省庁からも情報が提供されています。

一般的に地下核実験の場合は、大気中に放射性物質が放出されることは想定されませんが、本県では、2～4のとおりに対応することとしましたのでお知らせします。

1 関係省庁からの主な情報

○10時4分（消防庁）

本日9時30分頃、気象庁が北朝鮮付近を震源とする地震波を観測した。
気象庁によれば、自然地震ではない可能性がある。

- ・発生時刻 平成28年9月9日 9時29分57秒頃
- ・地震の規模 北緯41.3度 東経129.2度
深さ0km 規模：マグニチュード5.3

消防庁の対応

- ・消防庁に設置中の消防庁第1次情報連絡室において情報収集

○10時58分（消防庁）

政府の対応

- ・「北朝鮮情勢に関する官邸対策室」において、情報の収集・分析

○ 12時4分（消防庁）

総理指示

- ・ 北朝鮮の今後の動向等に関し、情報収集・分析の徹底を期すること
- ・ 核実験に伴う放射性物質の影響を把握するため、関係各国と連携しモニタリング態勢を強化すること
- ・ 不測の事態にも備えるなど、国民の安全・安心の確保に万全を期すること

○ 12時48分（消防庁）

内閣総理大臣声明

2 秋田県災害連絡室による情報収集等

台風第10号の発生に伴い、8月29日に「秋田県災害連絡室」（室長：総合防災課長、室員：総合防災課員）を設置しており、北朝鮮付近を震源とする地震波に関しても同室において対応します。

3 空間放射線量等のモニタリング強化

（1）モニタリングポストによる空間放射線量調査

原子力規制庁からの委託により、県内6か所のモニタリングポストにおいて実施している空間放射線量の連続測定を、引き続き実施します。

※県内におけるモニタリングポストの設置場所

秋田県健康環境センター及び5地域振興局

（鹿角、山本、由利、仙北、雄勝）

（2）ゲルマニウム半導体検出器による核種分析

原子力規制庁からの委託により、秋田県健康環境センターにおいて実施している核種分析について、同庁からの指示により、次のとおり強化します。

検 体	採 取 期 間		測 定 時 間
降下物	変更前	・毎月〔1か月間〕	20 時間
	変更後	・毎日〔15時から翌日 15 時までの 24 時間〕 (※初回分は、本日 11 時 50 分から明日 15 時までの 27 時間 10 分)	6 時間
大気 浮遊じん	変更前	・四半期〔3か月間〕	20 時間
	変更後	・毎日〔9時から翌日 9 時までの 24 時間〕 (※初回分は、本日 11 時 50 分から明日 9 時までの 21 時間 10 分)	6 時間

※「降下物」とは、降雨や降雪に含まれるちりをいう。

※「大気浮遊じん」とは、大気中に浮遊している粉じんをいう。

4 調査結果の公表

(1) モニタリングポストによる空間放射線量調査

本県を含む全国のデータは自動的に集約され、原子力規制庁のウェブサイトで公表されています。

※原子力規制庁ウェブサイトの URL <http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja>

全国及び福島県の空間線量測定結果 → 放射線量測定マップの秋田県を選択

(2) ゲルマニウム半導体検出器による核種分析

本日から毎日採取する降下物及び大気浮遊じんについては、結果が判明次第速やかに美の国あきたネットに掲載します。